



北九州市立

「チーム富野」通信 NO11

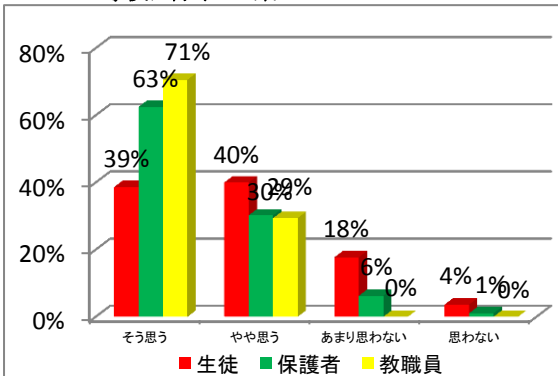
平成29年2月3日

北九州市立富野中学校  
校長 山下 新三

## 学校評価アンケートありがとうございました。

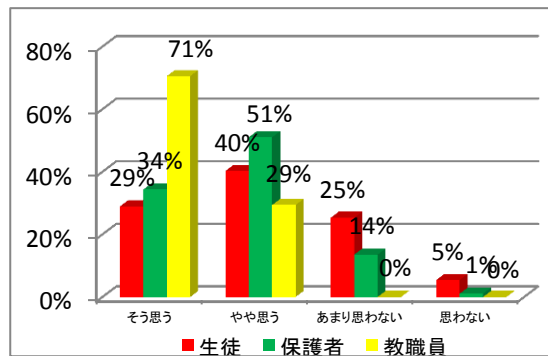
学校評価アンケートありがとうございました。アンケートの20項目の中で、本年度は、特徴の見られる10項目についてグラフで示し、3年間での経年比較の分析結果を記載しました。その他の項目については、データのみを掲載しています。学校評価につきまちは、今後、学校のホームページに掲載しますのでご覧下さい。

N01 学校に行くのが楽しい



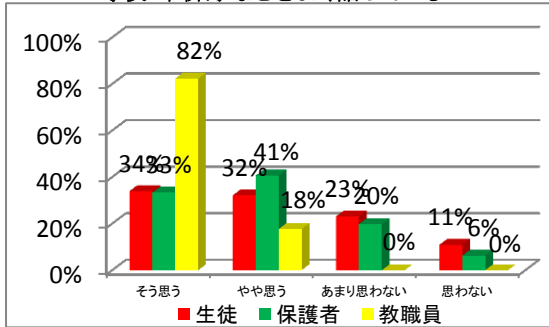
- ・学校に行くのが楽しいと思わないという生徒の割合は減少している。
- ・保護者が楽しく通っていると思う割合は増加している。

N02 挨拶がきちんとできている



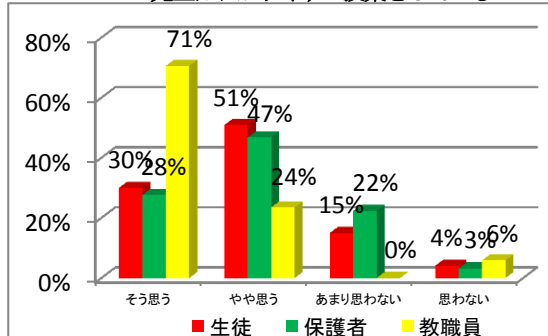
- ・教職員の挨拶の指導意識は高くなっているが、生徒のきちんと挨拶ができているという認識度は増加していない。

N03 学校の出来事などをよく話している



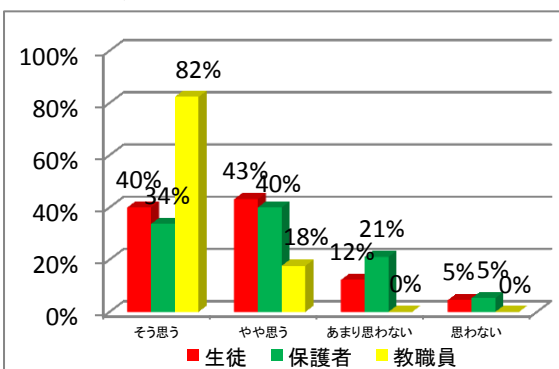
- ・1割の生徒が、家庭で出来事などを話していないと思っている。
- ・教職員の生徒への声かけの意識は向上している。

N05 先生はわかりやすい授業をしている



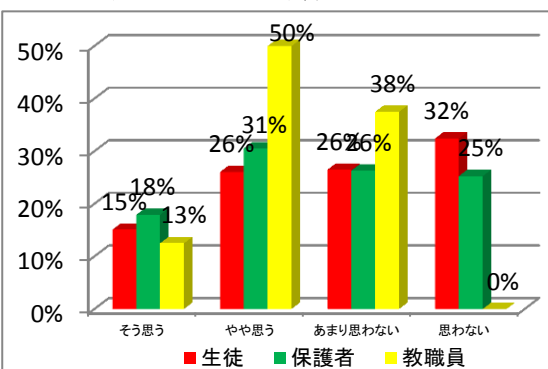
- ・教職員の授業づくりの意識は非常に高くなったが、生徒や保護者がわかりやすくなったと意識できるまでには至っていない。

N06 授業をきちんと受けている



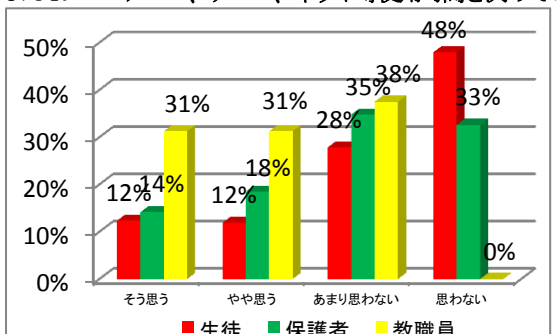
- ・教職員は、ほぼ全員がきちんと授業を受けるように指導していると思うが、生徒の2割弱はきちんと受けていないと思っている。

N09 日頃から宿題以外の学習をしている



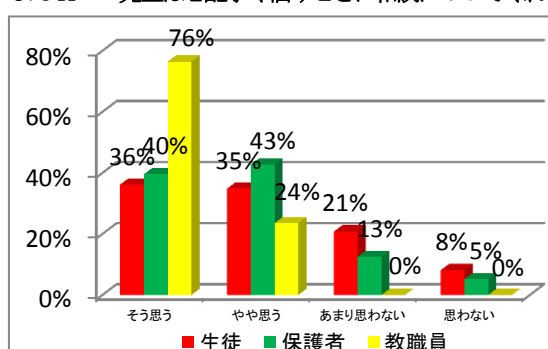
- ・宿題以外の学習をしていないと思う保護者の割合は、減少してきているが、生徒は依然半数以上が学習していないと思っており、宿題以外の学習は増加していない。

N010 テレビ、ゲーム、ネット等使用時間を決めている

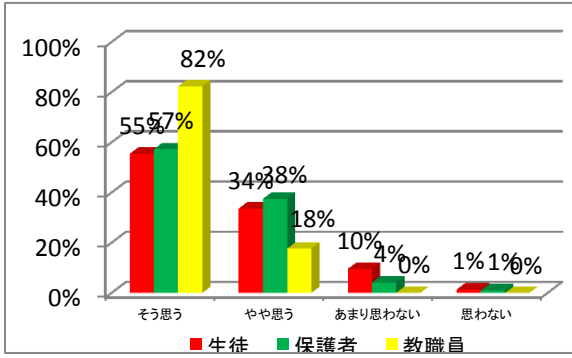


- ・教職員が指導している割合は増加しているが、半数もの生徒がきめていないと思っている。保護者と生徒との意識の差が拡大している。

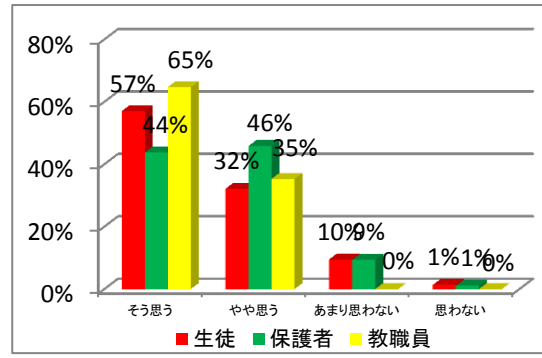
N011 先生は心配事や悩みごとに相談にのってくれる



- ・生徒は先生が相談にのってくれると思う割合は、年々増加し、思わない生徒は減少している。教職員の自己認識は非常に高くなっている。



・生徒の9割が行動できているが、1割ができていない。  
・教職員のいじめや差別への指導意識は、向上している。



・きまりやルールを守っていると思う割合は、生徒・保護者・教職員全てにおいて年々増加している。また、守れていない割合は減少している。

<その他の項目>

A : そう思う B : ややそう思う C : あまり思わない D : そう思わない

NO		アンケート項目	A	B	C	D
4	生徒	学校からのプリントを見せている。	22%	38%	23%	18%
	保護者	お子さんは、学校からのプリントを見せている。	20%	33%	26%	21%
	教職員	生徒や保護者に学校・学年・学級の様子を通信や口頭等で発信している。	53%	35%	12%	0%
7	生徒	学習用具や提出物などを忘れないようにしている。	46%	36%	13%	5%
	保護者	お子さんは、学習用具や提出物などを忘れないようにしている。	38%	27%	25%	10%
	教職員	生徒が、学習用具や提出物などを忘れないように指導している。	65%	35%	0%	0%
8	生徒	日頃から学校の宿題をしている。	32%	33%	21%	14%
	保護者	お子さんは、日頃から学校の宿題をしている。	31%	30%	22%	17%
	教職員	生徒が日頃から学校の宿題をするように指導または工夫している。	44%	38%	19%	0%
14	生徒	家庭や学校で自分のことは自分の力でできている。	35%	42%	20%	3%
	保護者	お子さんは家庭や学校で自分のことはできている。	35%	44%	18%	3%
	教職員	生徒が、家庭や学校などで自分のことを自分の力でする、またはするよう指導工夫している	47%	41%	12%	0%
15	生徒	毎日の清掃活動に一生懸命に取り組んでいる。	44%	38%	14%	3%
	保護者	お子さんは、清掃活動に一生懸命に取り組んでいる。	45%	41%	13%	1%
	教職員	生徒は、毎日の清掃活動をしっかりと取り組めるよう指導または工夫している。	65%	35%	0%	0%
16	生徒	生徒会活動や学級の係活動に積極的に取り組んでいる。	34%	31%	24%	11%
	保護者	お子さんは、生徒会活動や係活動に積極的に取り組んでいる。	36%	42%	21%	1%
	教職員	生徒が生徒会活動や学級での係活動などに積極的に取り組めるよう指導・工夫している。	35%	53%	12%	0%
17	生徒	体育大会や総合学習発表会などの学校行事は、楽しい。	49%	31%	15%	5%
	保護者	体育大会や総合学習発表会等の学校行事に楽しく取り組んでいる。	52%	41%	6%	1%
	教職員	生徒が体育大会や学習発表会等の学校行事に楽しく取り組めるよう指導・工夫している。	76%	24%	0%	0%
18	生徒	進路について、相談や指導が適切に行われている。	45%	36%	14%	5%
	保護者	先生は、進路について、相談や指導を適切に行っている。	48%	38%	14%	1%
	教職員	将来の仕事や進学など進路について相談や指導を適切に行っている。	53%	41%	6%	0%
19	生徒	家で将来の仕事のことなど進路について話をしている。	35%	34%	19%	13%
	保護者	ご家庭で将来の仕事のことなど進路について話をしている。	48%	36%	13%	3%
	教職員	家で将来の仕事のことなど進路について話ができるように指導・工夫している。	24%	65%	12%	0%
20	生徒	部活動に積極的に参加している。(部活動生徒のみ)	54%	25%	7%	14%
	保護者	お子さんは、部活動に積極的に参加している。	71%	19%	6%	4%
	教職員	生徒は部活動や校外のスポーツ活動などに積極的に参加している。	47%	53%	0%	0%

20項目のデータについて、平成26年度から3年間の経年比較を行い、生徒や保護者、教職員の意識調査の変化について考察しました。目立った点は、多くの項目で本年度、教職員の指導工夫への意識の向上が見られた点があります。しかし、教職員と生徒や保護者との意識の差が大きく見られ、生徒については、ほとんどの項目で大きな変化は見られませんでした。変化が見られた項目としては、「先生は心配事や悩み事に相談にのってくれる」に対しては、「そう思う」が25% (H28) から36% (H29) と11ポイント上がっています。また、「学校のきまりやルールを守っている」についても、「そう思う」が43% (H28) から57% (H29) と13ポイント上がっており、学力向上の基盤である学習環境づくりの成果が少しずつ見られています。特に、今後、工夫改善が求められる項目としては、「ゲーム・ネットの使用時間を確認すること」「日頃から宿題以外の学習をすること」が上げられます。どうぞご家庭におかれましても、このデータを基に、お子様と話す機会にいただければと思います。今後とも、開かれた学校を目指し、情報発信をしていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。